

平成24年度カキ養殖概況

野坂元道*・村山史康

養殖規模 平成22～24年度のマガキ（以下カキ）の漁業協同組合（以下漁協）別養殖規模、生産量などを表1に示した。24年度の経営体数は前年度と変わらず、160であった。県内の筏台数は1,987台で、前年度から2台増加した。なお、一部漁協では個人出荷のため生産量が把握できなかった。

養殖用種苗 24年度の生産に使用されたコレクター総数は推定31,500千枚で、産地は地種の割合が高く、7割弱を占めた。県内採苗は前年同様、6月下旬に浮遊幼生数が一旦増加したが、その後減少したため、再度増加がみられた7月中旬以降に開始された。採苗連投入は7月中旬から開始され、早い漁協では7月末までに、その他も概ね8月中旬までに採苗を終えた。

養殖経過 瀬戸内市牛窓町の地先海面に設置した水温塩分自動観測装置による24年度の牛窓沖海水温は7月上旬から11月上旬まで平年を上回ったが（図1）、カキのへい死は全体的に少なかった。

生産は、平年と同時期の10月下旬～11月上旬にかけて開始された。クロロフィルaは全体的に平年を上回

ることが多かった。身入り及び成長は、年内は全体的に不良だったが、年明け以降改善がみられた。

カキ出荷期間中に県、県漁連および漁協が実施したノロウイルス検査では、陽性率は生産期間を通じて0%であった。

生産結果 今漁期は漁期当初から年末にかけて、成長や身入りの不良が続き、むき身生産量は前年度を3%下回る4,069tであった。

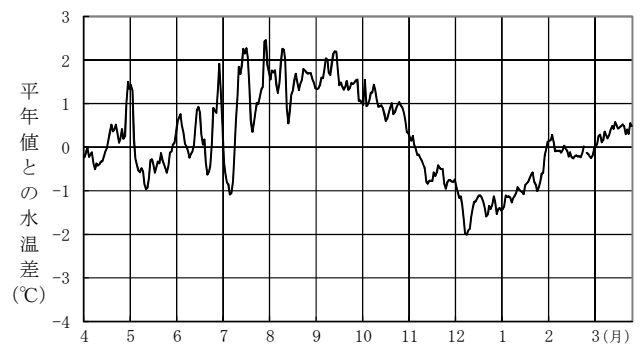


図1 平成24年度の牛窓沖水温における平年差の推移
※平年値は1976～2005年の平均

表1 カキ養殖状況（平成22～24年度）

漁協名	年度	経営体数	筏台数	沖出し時期 (月日)	生産時期 (月日)	むき身 生産量 (t)	生産量 対前年度比(%)
日生町	22	56	517	9/27 - 10/7	10/22 - 3/30	2,148	100.2
	23	54	514	9/30 - 10/9	10/23 - 3/30	2,036	94.8
	24	54	513	10/3 - 10/10	10/29 - 3/31	2,154	105.8
伊里	22	6	49	10/11 - 10/13	10/22 - 2/25	22	124.4
	23	6	46	10/10 - 10/11	10/26 - 3/30	43	190.8
	24	6	48	10/9 - 10/10	11/4 - 3/29	35	81.0
邑久町	22	75	1,228	9/23 - 10/16	10/22 - 4/22	1,567	108.1
	23	74	1,244	9/22 -	10/23 - 4/27	1,577	100.6
	24	73	1,232	10/1 - 10/13	10/25 - 4/27	1,575	99.9
牛窓町	22	6	99	10/15 - 10/17	10/22 - 3/21	204	112.7
	23	6	105	10/18 - 10/20	11/3 - 3/23	179	88.0
	24	6	111	10/8 - 10/10	11/5 - 3/23	176	98.1
寄島町	22	16	63	10/14 - 10/14	11/3 - 3/30	160	108.1
	23	15	63	10/3 - 10/7	10/28 - 2/27	112	70.0
	24	16	68	10/22 - 10/23	11/9 - 3/31	129	115.3
笠岡市	22	5	14	10/12 - 10/30	11/24 - 3/30	-	-
	23	5	14	10/8 - 10/30	11/20 - 2/18	-	-
	24	5	15	10/11 - 10/30	-	-	-
合計	22	164	1,970	9/22 - 10/16	10/22 - 4/22	4,101	104.1
	23	160	1,986	9/25 - 10/20	10/23 - 4/27	3,947	96.2
	24	160	1,987	10/1 - 10/30	10/25 - 4/27	4,069	103.1

*平成25年度退職